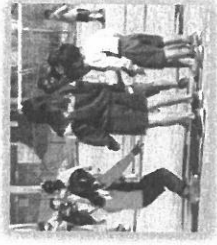


HOOPE

平成29年度宇治ひろの学園
小中一貫教育 事務局 発行
Hiroo-OokuboObiraki new education Plan



平成29年度に実施しました、宇治ひろの学園 小中一貫教育の取組をまとめました。児童・生徒の学力向上に向け、取組を継続させていきたいと考えています。今後とも本学園の教育推進にご協力・ご支援をお願いいたします。



NEW! 学園共通問題の作成

学力調査や実態の分析から苦手分野を克服する為の共通問題を作成しました。共通問題は、授業の中で活用して学園全体の学力向上に取り組んでいます。

RENEWAL 3校合同研修会

本年度の合同研修会では、教員同士が、ひざをつき合わせて話し合う時間を多く確保しました。学校の枠を越えたグループを組み、様々な取組の目的を再確認し、成果や課題の交流を行いました。



RENEWAL 中学校の学習への

不安低減の取組

中学校での生活や学習への意欲を高めるための取組として、広野中学校の2年生が、大久保小学校と大開小学校に本校生活についての話をしてくれました。中学校の教員からも学習についての話を聞きました。この話を受け、小学校でも計画的に学習に取り組むなど、中学校に向けての準備を進めています。

★学力充実の取組

- ・ 中学校の学習への不安低減の取組
- ・ 板書カード・授業システム
- ・ 家庭学習の手引き
- ・ 各種学力調査の結果分析と課題の共通理解
- ・ 小学校高学年での「教科担当制」
- ・ 宇治ひろの学園共通問題（算数）の作成、実施
- ・ 中学校教員による授業サポート（算数）

★教職員が交流・共同研究する取組

- ・ 宇治ひろの学園研究会の開催（5月総会、8月夏季合同研修会）
- ・ 2小学校教員による小中交流の充実
- ・ 各校授業研究会への参加
- ・ 小学校教員による中学校の部活動見学
- ・ 中学校教員による小学校の体育研修 他

HOT-MEETING 福島ひまわり里親プロジェクト

街頭募金活動（思いやり募金活動）

本年度も、広野中学校の生徒会、大開小学校、大久保小学校の児童会が中心となり、エコキャップ回収運動や街頭募金活動などの福祉活動、東日本大震災で被災された福島県の人々を支援する「福島ひまわり里親プロジェクト」に取り組みました。



★児童生徒が交流する取組

- ・ HOT-MEETING（3校合同児童生徒会）
- ・ HOT-STUDY（中学校 新入生半日入学）
- ・ 3校でのエコキャップ・プルタブの回収
- ・ クラブアシスタントティーチャー（中学生の小学校クラブへの参加）
- ・ 中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・ 福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他

中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ

み聞かせ

広野中学校1年生が大久保小学校と大開小学校に分かれて来校し、それぞれの小学1年生に「紙芝居」の読み聞かせを行いました。中学生は、優しさをもって小学生に接し、小学生も頼もしいお兄さんお姉さんの読み聞かせに大喜びでした。



子どもの主張大会

2月10日（土）、大久保小学校にて大久保小学校区青少年健全育成協議会主催の第33回「子どもの主張大会」が開催されました。宇治ひろの学園の小学生18名が自分の思いや考えを主張しました。



★保護者・地域と交流する取組

- ・ 子どもの主張大会（大久保学区青少年協主催）
- ・ 3校合同地域懇談会の開催
- ・ 広野中学校吹奏楽部定期演奏会
- ・ オータムメモリーコンサート
- in 大久保小学校 他



【平成29年度 北宇治中学校ブロック小中一貫教育のまとめ】

1 学力分析係会

◎今年度のまとめ

☆中学校（中2学力診断テスト分析結果から）

- ・質問紙から
→国語好きが増加
数学、英語好きが減少
- ・家庭学習が二極化している→1時間以上が増加したが、30分未満も増加している
- ・来年度以降さらに学力の効果的な定着を図っていく必要がある。

☆小学校（小6全国学力状況調査分析結果から）

- ・国語…記述式…書くことへの抵抗感がみられる
- ・算数…数量関係、図形の問題でのつまづきがみられる
全体として国語よりできている。
- ・本年度取り組んだこと
→読み取りプリント、朝学習の充実（言葉の宝箱）、授業の振り返りの記入
→やましろ授業スタンダードをもとに「小学校授業スタンダード」をつくり校内研修を行った
①インパクトのある導入（導入の工夫）②めあて③考える④話し合う⑤意見を聞く
⑥まとめ⑦振り返る
- ・「言葉の宝箱」で文章力、国語力が高まった
- ・計算力アップの取組
- ・視写の取組

◎来年度への引き継ぎ事項

- ・3校共通の方向性として「まとめ」「振り返り」を大切にした授業を展開する。
- ・学年の系統性を意識して、課題解決に取り組む（低→中→高→中学校の9年間）
- ・学力の充実、向上に向け、柱となる教員を分掌に位置づけ、その担当が「学力分析係会」に入り、各校やブロックで取り組めるようにする
- ・導入5分、まとめ振り返り7～8分、約30分で内容の充実をはかることが必要である

2 学習規律係会

◎今年度のまとめ

☆「私たちの学びの10箇条」について

（小学校）

- ・掲示し、意識付けをするとともに、「今日のめあて」の一部にしている。保護者にも見えるところに掲示している
- ・着ベルはほぼできている。
- ・聞き方、話し方について、重点で掲示物をつくった。
- ・始業時のあいさつは、隣のクラスに聞こえるくらいの大きい声でできている。

（中学校）

2分前には教室に入るという意識付けを行っている（1年入学時から）

姿勢（横向き）の点は改善が必要である

☆最終的にベル着から着ベルへが目標

◎ 来年度への引き継ぎ事項

- ・ 私たちの学びの10箇条については、各校の実態に合わせ、振り返りと点検をしながら児童、生徒の力を伸ばしていけるように取り組む

「私たちの学び
の10箇条」

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
授業開始				①時計を見て2分前 行動
	※各校の実情につなげられ	合わせて検討し、 るようにする	中学校の目標	②机の上に授業の用意を準備する
				③号令であいさつ、椅子を入れて「気を付け、礼」「お願いします」
姿勢				④膝を前に向けて座る
				⑤話をしている人の目を見る
授業中				⑥授業の「めあて」を確認する
				⑦積極的に発表し授業参加する
				⑧丁寧な字でノートを書く
				⑨他の人の意見から学ぶ
				⑩「めあて」に近づいたかその授業を振り返る

低学年	→	中学校
時計が読める		ベル着
次の時間の学習準備をしてから休み時間に		着ベル
姿勢	}	共通のものに
聞く / 話す		

3 家庭学習係会

☆今年度のまとめ

- ・ 家庭学習の手引きについては、掲示・冊子で配布した
- ・ 春休みの中の課題の見直しができた
- ・ 春休み中の課題の最終確認を行った
- ・ 春休み中の課題の印刷は中学校が行い、小学校で配布する
- ・ 春休み中の課題については、どの子もある程度終わらせることができ、自信を持って中学校へ行くことができる内容にしぼる

☆来年度への引き継ぎ事項

- ・ 外国語が教科化した場合は、中学校入学前の英語の宿題も必要か
- ・ 家庭学習の手引きは来年度まで配布し、見直しをする。活用については引き続き考えていく

4 授業改善係会

☆今年度のまとめ

① アクティブラーニング（→新指導要領では主体的・対話的で深い学び）をテーマに1年間実践してきた

（中学校）

- ・プリントを活用し、グループでの活動時間を増やす
- ・1時間で多くの活動を盛り込む
- ・教師間で教材研究等をし、高めあえるようにするとより良い
- ・振り返りの文章化に取り組む

（小学校）

- ・2人組で話し合い
- ・学年会で打合せがしっかりできている
- ・ローテーション道德…他クラスの様子が把握できる
- ・めあて…まとめ→めあてのことばでまとめる

② 話し合い活動に力を入れる際の成果と課題

- ・発表者が偏ってしまう
- ・台本を作ってしまう
- ・グループ活動の素地を養うために継続して行う

③ クラス作り・意欲

- ・「授業改善」は「クラス作り」「意欲」も関係する。

④ 中学校と小学校の連携

- ・ふりかえり、あいさつ
- ・学校（学年）内で統一し、中学へ

☆来年度への引き継ぎ事項

- ・小学校での6年間でどんな力（まとめの力・話し合いの力・書く力）がついたのか、中学校に伝われば伝わるほど、その後の積み重ねの幅も広がる。

5 特別支援・教育相談係会

☆今年度のまとめ

- ・6年生の支援に必要な児童の交流、中学校の生徒の様子・経過の情報交流
- ・相談室登校の生徒の交流
- ・情報を共有し、正確な情報を引き継ぐ必要がある
- ・保護者との関係作りを大切にする。親の思いをつかむ。保護者の本当の思いをつかんでいくことが大事。

☆来年度への引き継ぎ事項

- ・児童、生徒の実態交流をより細かく行っていく。
- ・児童、生徒に対する有効な支援策を考えていく。
- ・保護者、児童が不安な場合、前もって中学に連絡をしておく。

6 全体を通して

☆来年度は係会の見直しや、中学校との連携をしながら小学校英語教育の推進を検討

【企画会議原案】

☆学力部係会の改編

- ① 授業改善 → 授業改善＋道德へ ⇒ 授業改善（道德）会（仮称）
- ② 学習規律 → 学習規律を廃止し、小学校英語推進に特化 ⇒ 英語推進係会（仮称）

◎ 小学校の英語教育と中学校の英語教育のスムーズなジョイントを行うために、中学校から英語科の中核教師２名と小学校から英語教育の主幹となる教師の組織を少数精鋭で構成する

新しい学力部係会の構成（案）

- ① 学力分析係会
- ② 授業改善及び道德係会（※仮称）
- ③ 家庭学習係会
- ④ 英語教育推進係会（※仮称）
- ⑤ 特別支援・教育相談担当係会

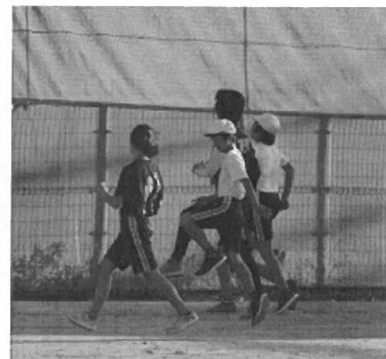
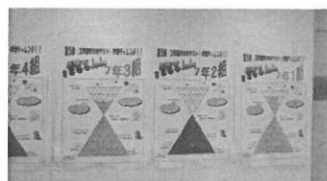
※中学進学への不安解消にむけた取組※

1 中学生との交流

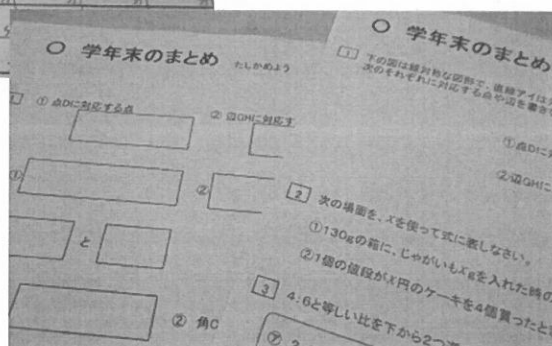
① OBAKUミーティング(6, 7年生交流)



② 部活動体験

[illegible]

2 定期テストの不安軽減の取組



◆「黄檗 walker」◆ 4月26日（水）

最高学年である9年生が、1年生と手をつなぎ、学園内を案内しました。

手作りの名刺を交換した後、各施設の使い方などを優しく説明しながら校内を回りました。

上級生に見守られている「安心」を肌で感じられる、本学園の特色を生かした、小中一貫校ならではの取組です。



◆第6回学園体育大会 中学校の部◆ 6月3日（土）

さわやかな青空の下、学園体育大会（中学校の部）を実施しました。本年度は「邁進（まいしん）～更なる高みへ～」をテーマに3色に分かれて様々な競技に汗を流しました。『全力で取り組むこと。自分たちの力で運営すること。小学生のあこがれになること』をねらいに、多くの学びある大会となりました。小学生1～4年は応援で、5・6年は競技（綱引き）に参加しました。

運営におきましては、多数の地域・保護者の皆様にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



◆中期きずな科◆ 5.6.7年で取り組んでいます

総合的な学習の時間（宇治学）では、「きずな科合同学習」として、中期ステージの3学年が合同で学習を進めています。

地元を愛し、宇治の良さ（魅力）を発信し、交流をすることでプレゼンテーションの力を養うことをねらいとしています。

それぞれの学年のテーマを「社会福祉」（5年）、「歴史・観光」（6年）、「防災」（7年）とし、19日には1回目の発表交流を行いました。

異学年から受けた激励やアドバイスを、3学期の学習につなげていく予定です。



◆学園会本部役員選挙◆ 11/19 5～9年生

凜とした雰囲気の中、各候補者・推薦者が演説を行いました。

各教室では、宇治市からお借りした投票箱を使い、選挙管理委員会を中心に、投票が行われました。



学園通信「きずな」より

小中交流行事関係記事 抜粋